ファルクラム租税法研究会員 業績報告

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 所属等 |  |
| 業績 |  |
| 雑誌や書籍等 |  |
| 論文・記事名 |  |
| 内容 | |
|  | |
| その他備考、特記事項等 | |
|  | |

＊上記は、会員個人の業績であり、ファルクラム租税法研究会が監修等をしたものではございません。

見本

ファルクラム租税法研究会員 業績報告

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 酒井克彦 |
| 所属等 | 中央大学商学部教授  ファルクラム租税法研究会代表 |
| 業績 | 雑誌掲載 |
| 雑誌や書籍等 | 税理60巻15号2頁 |
| 論文・記事名 | 巻頭論文「生命保険税務の理論的課題」 |
| 内容 | |
| 本稿は、生命保険税務が包含する問題として、特に通達の取扱いに依拠した保険商品が多数存在することによるリスク等について論じたものである。保険とは本来リスクを回避するために契約するものであるにもかかわらず、法律に比して容易に改正や廃止がなされる通達の定めに基づく保険商品が多数存在することは、税務上大きなリスクになっているようにさえ思われる。  　本稿では、租税法律主義や法人税法上の公正処理基準と通達の関係を改めて整理したうえで、そこに大きく依拠する保険税務の抱える問題点を指摘した。  　また、低解約返戻金型逓増定期保険などの評価の問題についても触れ、昨今開発の著しいAIなどを用いた科学的評価の可能性にも言及している。 | |
| その他備考、特記事項等 | |
| その他、同号160頁に、連載「コーポレートガバナンスと税務 第6回 社外取締役の役員給与課税」も掲載。 | |

＊上記は、会員個人の業績であり、ファルクラム租税法研究会が監修等をしたものではございません。

記入に当たってのお願い

・共著の場合には、氏名欄にその旨を記入して下さい。

　例：酒井克彦＝臼倉真純

酒井克彦ほか２名

酒井克彦（共著）　など

・所属等欄は、事務所名や資格等を記載して下さい。

　（差し支えのない範囲で構いません）

　例：〇〇税理士法人 代表社員

　　　△△税理士事務所　所長

　　　税理士・公認会計士　など

・業績欄には、以下のような分類をご記入下さい。

　例：雑誌掲載、〇〇賞△△の部受賞、書籍、紀要論文、WEB掲載　など

・雑誌・書籍等欄には次のような記入をお願いします。

雑誌の場合には、雑誌名〇巻〇号〇頁と記入して下さい。

　　書籍の場合には、書籍名と出版社、出版年数を記入して下さい。

　　WEB掲載の場合には、情報が特定できる日にち等を記入して下さい。

　　例：税理60巻15号2頁

　　　　『通達のチェックポイント』（第一法規2016）

　　　　Kaikeizine 2017.12.8公開

・論文・記事名にはその論文の表題等を記入して下さい。

　共著書籍の場合には、第〇章執筆など、分かる範囲でご記入下さい。

・内容欄は、業績の詳細を簡潔にご紹介下さい。

　紹介分は多少短くても構いません。必要に応じて調整をお願い致します。

・その他備考欄には、WEB掲載の場合には、そのURLなど、必要に応じてご記入下さい。